ホルムアルデヒト放散等級
F ☆☆☆☆

水性シリコン系石材調多彩模様ローラー仕上げ塗材

ニッペ

ジキトーンセラアートSi®

JIKITONE CERA ART Si

Basic & New
NIPPON PAINT

水性シリコン系石材調多彩模様ローラー仕上げ塗材

ニッペ ジキトーンセラアートSi®

工程短縮と施工環境配慮を実現。ローラーで施工可能な高耐候の石材調多彩模様仕上げ塗材。

■特　長

①工程短縮

これまでの石材調仕上げ塗材(当社従来品)のようなトップクリヤー工程が必要なく工程短縮が可能です。

②ローラー施工

ローラーでの施工が可能なため、吹付け施工と比べ飛散が少なく、改修塗装に最適です。

③豪華な仕上がり

石材調の多彩な模様を表現した豪華な仕上りが可能です。

④高耐久・高耐候性

上塗りの塗料には水性シリコン系樹脂に着色用セラミック骨材を配合しており、高耐久・高耐候を実現しました。

⑤低汚染性

雨水といっしょに汚れが落ちやすく、汚れが目立ちにくい構造です。オプションとして無機系超低汚染コーティング剤「ニッペ　クリスタコート」をオーバーコートすることにより、さらにすぐれた低汚染性能を付与できます。

⑥ひび割れ追従性

下塗り材・上塗り材両方の微弾性機能により外壁のひび割れに追従でき、住まいの美しさを保ちます。

⑦透湿性

塗膜には透湿性がありますので、膨れや剥離を抑制します。

⑧防藻・防かび性

藻・かびの発生を防ぎ、快適で清潔な住まいを保ちます。

■適用下地

・改修面の各種旧塗膜(石材調仕上塗材、吹付タイル、弾性タイル、アクリルリシン、その他旧塗膜)
・新設面の各種素材(現場打ちコンクリート、モルタル、ＰＣ、ＧＲＣ、押出成形セメント板など)
※下塗りに先立ってシーラー(ニッペ　ファイン浸透シーラーなど)を塗装してください。

■用　　途：建物の内外壁(戸建て住宅、マンション、店舗、公共施設など)

■標準塗装仕様(塗り替え)

●ジキトーンセラアートSi

工　程		塗料名	塗り回数(回)	使用量(kg/m²/回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修工事		下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて塗装工事前に実施する。						
下地調整		活膜は残すが、膨れたり、割れたり、浮いている塗膜は入念に除去する。ほこり、よごれを除去し、清掃する。						
下塗り		ジキトーンセラアートSi 下塗材(注)	1	0.30～0.60	4時間以上	水道水	3～6	ウールローラー
				0.80～1.30			1～3	砂骨ローラー
上塗り	ベース塗り	ジキトーンセラアートSi	1	1.00～1.30	4時間以上 3日以内	水道水	5～9	砂骨ローラー
	模様塗り	ジキトーンセラアートSi	1	1.30～1.70	—	水道水	2～6	砂骨ローラー

※上記の各数値はすべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。
※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。
※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境や施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。
(注)下地の不陸や旧塗膜の除去箇所など面調整が必要な部分はジキトーンセラアートSi下塗材を砂骨ローラーにて塗装してください。

■工程写真

既存下地

72-60D程度

下塗り

下塗材A

上塗り(ベース塗り)

NJSI-05A

上塗り(模様塗り)

NJSI-05A

お好みに合わせてお選びいただける、表情豊かなカラーバリエーション。

▼NJSI-01A

▼NJSI-02C

▼NJSI-03E

▼NJSI-04C

▼NJSI-05A

▼NJSI-06D

▼NJSI-07F

▼NJSI-08D

▼NJSI-09D

▼NJSI-10B

▼NJSI-11B

▼NJSI-12G

▼NJSI-13D

▼NJSI-14C

▼NJSI-15H

※写真見本は印刷物のため、
実際の仕上りと色調が異なります。

■下塗り組み合わせ一覧

ジキトーンセラアートSi　上塗色			
●NJSI-01A ●NJSI-05A	●NJSI-10B ●NJSI-11B	●NJSI-02C ●NJSI-14C ●NJSI-04C	●NJSI-06D ●NJSI-09D ●NJSI-08D ●NJSI-13D
●下塗材A (N-80近似色)	●下塗材B (22-80C近似色)	●下塗材C (19-75C近似色)	●下塗材D (09-60B近似色)

ジキトーンセラアートSi　上塗色			
●NJSI-03E	●NJSI-07F	●NJSI-12G	●NJSI-15H
●下塗材E (29-70B近似色)	●下塗材F (N-55近似色)	●下塗材G (22-85D近似色)	●下塗材H (22-50B近似色)

ニッペ ジキトーンセラアートSi

容量・荷姿

荷　姿	色　相	つ　や
ジキトーンセラアートSi下塗材　16kg	標準色（8色）	つや消し
ジキトーンセラアートSi　18kg	常備色（15色）	つや消し

使用上のご注意（詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。）

1. 水系、非危険物、1液形なので、臭気が少なく、ポットライフがない取り扱いやすい商品です。
2. 耐候性、耐水性、耐アルカリ性、接着性にすぐれ、立体感のある石材調に仕上げられるローラー塗り材の主材です。
3. 総合塗膜として、雨水の浸入を防ぎ、壁面を保護します。
4. 塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。
5. 上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
6. 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
7. 乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。
8. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
9. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
10. 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
11. 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
12. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
13. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
14. 既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
15. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
16. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
17. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
18. タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行なってください。
19. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケット科学社製CH一2型で測定した場合）、または5%以下（ケット科学社製Hi500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
20. 素地の乾燥は十分に行ってください。
21. 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
22. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルションパテの使用は避けてください。）
23. 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
24. 素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
25. 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
26. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
27. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
28. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
29. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
30. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
31. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
32. 笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
33. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
34. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
35. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
36. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
37. 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
38. 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
39. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
40. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
41. 開缶後は皮張りがしやすいため、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。
42. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
43. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

安全衛生上の注意事項　ジキトーンセラアートSi　NJSI-01A　横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書を入手してください。
3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
4. 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないでください。
5. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
6. この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
7. 汚染された作業衣は作業場から出さないでください。
8. 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
9. 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用してください
10. 気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けてください。
11. 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
12. 口をすすいでください。
13. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
14. 皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
15. 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。
16. 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
17. ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けてください。
18. 皮膚刺激を生じた場合：医師の診断／手当てを受けてください。
19. 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断／手当てを受けてください。
20. 汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。
21. 施錠して保管してください。
22. 直射日光や水濡れは厳禁です。
23. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
24. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上（スプレー缶の場合は40℃以上）の温度にばく露しないでください。
25. 内容物／容器を国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

危険

危険有害性情報　■皮膚刺激　■アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ　■発がんのおそれ　■生殖能又は胎児への悪影響のおそれ　■臓器の障害（単回ばく露）　■長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害　■水生生物に有害

日本ペイント株式会社
お客さまセンター
☎ 03-3740-1120
☎ 06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/

●このカタログは再生紙を使用しています。

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2015 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

カタログNo.
NP-T077
AA151008T
2015年10月作成